

A 社（フォワーダー）

NACCS(HCH)と Cloud への 2 重入力作業になる。

CSV アップロード機能もありますのでそちらを有効活用してください。自社システムと CSV アップロード機能を RPA で自動化されている企業もおられます。

他社にアサインする時は必須科目を入力した上でアサインする。とした方がいいのでは
実際トライアル時には貨物情報を何も入れて来ずアサインされてくるものが多かった

機能的にはアサインする際に入力項目を必須とすることは可能ですが、その場合、通関許可後でなければ予約枠が取れなくなってしまうため、アサインする際は空欄があってもアサインできるようにしています。

アサインした後もアサイン元は貨物情報を編集することができるので、締切時間までには必須項目は入力していただく必要があります。

長期蔵置の場合こういった手続きが必要か。

特に Cloud で操作することはありません。Cloud はあくまで搬出時に使用するシステムになります。

上屋ごとに分けて 1 週間ずつトライアルを実施して欲しい。

この場合、複数上屋を周る集荷予約を取ることが出来なくなるので次回トライアルは 4 上屋から搬出される貨物を対象に実施します。

B 社（フォワーダー）

細かい枠で予約することが難しいので AM,PM という大きい枠で予約取れないか

AM,PM という枠予約では上屋が貨物の準備ができません。また KIX Cargo Cloud はトラックの待機時間並びに、引取り時間の短縮を目的としているため、漠然とした時間帯ではなく、詳細な 1 時間枠として設定しています。

他空港などからキャリアトラックではなく、自社トラック(フォワーダー自身が手配したトラック)で OLT をして関空に持ってきた時の取り扱いどうなるのか。D/O の発行は成田だけど成田にさせるのか。

関空の 4 上屋から最終的に搬出される場合はデータを登録いただく必要があります。

成田空港の運用上、紙の D/O が必要かと思しますので、そちらで発行いただく必要がありますが、関空に到着後、4 上屋から搬出される際は Cloud での搬出となりますので Cloud に入力をお願いします。(Cloud に入力いただく方の勤務地は問いません。)

C 社（フォワーダー）

生鮮、個人通関も通関業者判断でいいのでは。生鮮、法人の自社通関は Cloud 対象外とし判断は通関業者の自己申告制とすればいいのでは。

通関業者判断とした場合、解釈違いにより明確な線引きができないため、こちらで線引きします。

Cloud での引取りと紙ベースでの搬出方法を残してほしい。紙ベースでの搬出の場合はキオスク端末を用いた搬出を必須にしたらいいいのでは。

2 つの搬出方法を並行する場合、関係者の工数が増えることが予想されます。その状況は、スムーズな引き取りを目指す Cloud の運用から逆行しているため、並行運用は考えていません。

NACCS で通関業者を確認するなどして、Cloud 上明らかに不正が多いユーザーは忠告すればいいのでは。

システム管理者として履歴の確認ができますので、システム管理者が明らかに不正な行為であると判断した場合はそのユーザーに対し適宜忠告します。

Cloud の画面上で、左端の BL 単位のチェック欄とアサインのチェック欄がややこしい色を変える改修を加えました。

次回は 1 カ月～2 カ月間トライアルをしたい。そのあとまたフィードバックして欲しいご意見の通り進めることが出来るよう検討します。

BL は先行入力の方が勝つ 被れば A を末尾に入れるのでいいのでは別途重複を防ぐ機能を設けています。

検査横持とラウンド運送の場合の取り扱いはどうするのか

上屋アカウントではアサインの履歴(誰から誰にアサインされたか)が全て閲覧できるようになっています。搬出カウンターでの D/O の提示は不要になりますが、NACCS にコードを入力した後、貨物を他所に動かしたい場合は上屋になにかしら連絡をしていただくようお願いします。

区分 3 になった場合の検査場への横持は、現行通り NACCS で横持申請をかけるとコードを入れた業者が Cloud 上で貨物の所有権を持っている業者か（アサインされている業者か）履歴情報を閲覧し、整合性が取れた場合は上屋が対応します。

純粋な上屋からの搬出行為ではないため Cloud での搬出依頼は不要です。

ラウンド運送も現行通りマニュアル書面を用いての運用になります。

D 社（運送業者・路線便業者）

路線便は大体毎日同じ時間に上屋に接車しているので、まとめて定期搬出分を搬出依頼情報登録できるようになるならありがたい。

今後同様の要望が多いのであれば、改修項目として検討します。

NACCS と連動してほしい

NACCS センターとは引き続き協議しています。早期の NACCS 連動を目指して引き続き協議を進めて参ります。

E 社（フォワーダー）

許可前の貨物を内容点検などで動かす際に D/O は必要なのか。

上屋アカウントではアサインの履歴(誰から誰にアサインされたか)が全て閲覧できるようになっています。NACCS で SHN(内容点検)が入力された後、上屋は内点場に貨物を準備します。上屋の搬出カウンターに伺い、どの会社の、誰が内点に来たかを伝えてください（上屋により書類の記載を求められます）。上屋側は Cloud のアサイン履歴を見て、実際に搬出カウンターに来ている方がアサイン関係者かを確認します。

誤った情報でアサインしてしまった場合、相手方から削除してからだと遅いので、アサイン元で引き戻せるようにしてほしい。D/O を間違えて渡した場合、相手先に削除してもらわないといけないのが不安

アサイン先が「アサイン受取」をする前であれば、アサイン元はアサインを引き戻すことが可能です。ただ所有権移転の観点から、アサイン先が受け取った後、アサイン元に権限を戻す場合はアサイン先にデータを削除していただく必要があります。

上屋での突合時間がいつになるのか分からず、予約をいつすれば良いのか分からない。

現行の考え方と同じく、フライト到着時間や便から突合時間を見越して Cloud で予約をしてください。

上屋のキャパは本当に大丈夫なのか？バースの母数や営業時間含め枠がずっと×の場合はどうなるのか。システム上×でも、実際のトラックヤードは空いている状況はありえるのでは。予約枠が全部×だった場合が不安
トライアル期間は上屋も限定的にバースを開放していました。実際は上屋の運用状況に合わせて開放されるため全部×という現象はピーク時以外起こりえない想定です。仮に×表記が頻発した場合は上屋側での予約枠設定が現実の運用と即していないため、上屋側に適切な予約枠に変更いただくことになります。

F 社(フォワーダー)、G 社(運送業者・路線便/チャーター業者)

(G 社)D/O が無いと貨物の詳細が確認できない。Cloud 上には C/W やサイズの記載が無いが今は BL にそれが書いてある。

各フォワーダーから搬出上屋ごとにまとめられた搬出書類を随時回収されていると思いますが、Dim については必ずしも BL(D/O)に記載されているとは限りません。依頼者とのメールや配送指示書等を用いて正確な情報を入手してください。

現行の書類引き取りとシステム入力の二重作業になる。正直できそうにない。今の会社の人数では対応できない。

導入当初は少なからず手間とを感じる場面もあるかと思いますが、操作の習熟と関係者同士のシステム利用が浸透することで引き取りがスムーズになり、一連の搬出までの作業効率は向上されると想定しています。

紙で搬出できる救済措置が欲しい

2つの搬出方法を並行する場合、関係者の工数が増えることが予想されます。その状況は、スムーズな引き取りを目指す Cloud の運用から逆行しているため、並行運用は考えていません。

EMS についてはどうなるのか。

4 上屋からの搬出ではないので、Cloud を使用して予約をする必要はありません。
最終的に 4 上屋から搬出される際は Cloud を使用して引き取りしてください。

Q&A がわかり辛いので、カテゴリ別にわかるなどして見やすくしてほしい。

次回更新時には分かり易くしたものを掲載します。

H 社 (フォワーダー)

内容点検やその他の上屋業務を行う場合、紙の D/O が無くても取扱いが出来るようになるのか？

上屋アカウントではアサインの履歴(誰から誰にアサインされたか)が全て閲覧できるようになっています。
NACCS で SHN(内容点検)が入力された後、上屋は内点場に貨物を準備します。上屋の搬出カウンターに伺い、どの会社の、誰が内点に来たかを伝えてください(上屋により書類の記載を求められます)。上屋側は

Cloud のアサイン履歴を見て、実際に搬出カウンターに来ている方がアサイン関係者かを確認します。

アサインの再アサインについて（間違えてアサインした場合）

アサイン先が「アサイン受取」をする前であれば、アサイン元はアサインを引き戻すことが可能です。ただ所有権移転の観点から、アサイン先が受け取った後、アサイン元に権限を戻す場合はアサイン先にデータを削除していただく必要があります。

対象・対象外の線引きはどうなるのか

A、 KIX Cargo Cloud の**対象外**貨物は下記の 4 つになります。

- ① 個人事業主・一個人(私人)が通関を行う場合(個人通関)
- ② 上屋再預かり貨物
- ③ 4 上屋(ANA Cargo、CKTS、JALKAS、Swissport)内で二次仕分けをした後、搬出される HAWB 単位の SP 貨物
- ④ 代理店の依頼によって上屋会社職員により上屋間や代理店上屋へ配送を行う場合

※生鮮貨物を含む保冷品、並びに Val 貨物も Cloud 対象貨物となります。

※Val 貨物を引き取る際は現行通り、ドライバーは上屋搬出カウンターで免許証の提示をしてください。

※キャリア上屋 4 社(ANA Cargo、CKTS、JALKAS、Swissport)から搬出される MAWB 単位の SP 貨物は Cloud の対象となります。

島内の業者が、島外の業者からの依頼により税関検査や他法令の検査だけ受ける場合どうされるのか島内委託先業者が検査業務のみ受ける場合、現状の動きは、F 社→委託先業者→上屋検査→委託先業者から F 社に返却別途システム改修したため、上屋ではアサイン履歴の閲覧が可能になり、実際に現場に来ている者が誰かを判別することが出来るようになりました。そのため島内の通関業者が島外の通関業者から委託を受けて現場で作業をする場合は、その委託を受けていることを上屋担当者に証明していただくようお願いします。

輸入者自身(荷主)引取りは対象か？

対象です。

CSV フォーマットの内、自社システムから抽出したデータが 0 始まりの場合、番号がゼロ落ちして MAWB 桁数が足りない。そのまま Cloud に UP した場合エラーが出るようにしてほしい。また、その際、何行目がエラーなど表示してほしい。

11 桁未満の場合はエラーとして検知し、何行目がエラーと表示しますが、枝番がつくなどして 11 桁を超える場合はエラー検知ができなくなりますのでご注意ください。

緊急時の対策として、Cloud が使えなくなったときはどうすればいいのか

緊急時は紙の D/O を用いて搬出してください。

I 社（フォワーダー）

今後のスケジュールについて 改修後のシステムでトライアルを実施してほしい。

改修後のシステムで実施します。

上屋コードは是非追加して欲しい

追加しました

トラック手配が輸入者手配の場合(荷主手配)どうすればいいのか

荷主手配の場合の搬出方法についても2つの方法を想定しています。

- ①搬出依頼情報を入力する者が、荷主手配の配送業者のドライバー情報を確認し入力する。
- ②荷主、もしくは荷主手配の配送業者に一般アカウントを取得いただき、その業者が搬出依頼情報を入力する。
(フォワーダーから貨物情報のアサインを受ける必要があります)

他に、方法としては③貨物情報をフォワーダーが作成後、引き取る貨物の詳細をドライバーに伝えていただくことで KIOSK 端末から予約をすることも可能ですが、KIOSK 端末操作時点からの予約となるため引き取りまでの待ち時間が発生する可能性が高いことから、上記2つの方法を推奨します。

キオスクの登録は全く予約が無い人向けになっている。荷主引き取りの場合は搬出依頼情報はフォワーダーが予約するとして、ドライバー情報は KIOSK 端末でドライバー自身が入力することで引き取り可能にしてほしい。荷主引き取りのドライバー情報をフォワーダー側で入力することはただ働きのようなものである。

荷主手配の場合の搬出方法についても2つの方法を想定しています。

- ①搬出依頼情報を入力する者が、荷主手配の配送業者のドライバー情報を確認し入力する。
- ②荷主、もしくは荷主手配の配送業者に一般アカウントを取得いただき、その業者が搬出依頼情報を入力する。
(フォワーダーから貨物情報のアサインを受ける必要があります)

他に、方法としては③貨物情報をフォワーダーが作成後、引き取る貨物の詳細をドライバーに伝えていただくことで KIOSK 端末から予約をすることも可能ですが、KIOSK 端末操作時点からの予約となるため引き取りまでの待ち時間が発生する可能性が高いことから、上記2つの方法を推奨します。

運送業者側の作業が負担感としてある、システムを入れることによって集荷を受けない業者がいるのではないかと不安感がある。

Cloud を利用したスムーズな搬出を実施するため、引き続き関係各社への周知に努めて参ります。

現行荷主に伝えているドライバー情報は①運送業者名、②車番(4桁)、③ドライバー名、④ドライバー電話番号の4つだが、これらより入力する項目が増えるので手間だと感じる。

マスタ管理できるようにしているので、最初の一回以降はそこから選択していただくことで長期的に見れば作業工数は減ると考えています。

日によってドライバーは変わるが、もう少し入力を楽しんでほしい

選択時運送会社ごとのドライバーや車両を検索できるようにしました。改修内容説明資料をご覧ください。

搬出依頼情報単位だけでなく、BL 単位でもステータスがわかるようにして欲しい

搬出依頼情報画面で BL 番号を検索していただく事で対象 BL が紐づいている搬出依頼情報のステータス確認ができます。

貨物情報一覧画面でアサインの履歴を閲覧できるようにして欲しい。カーソルを合わせばポップアップで出てくるようなイメージ。都度アサイン詳細の画面を開くのが手間

他の業者からも要望があれば次回の改修案に入れます。

次回トライアルをやる場合は1カ月前に通知して欲しい。

承知しました。

J社（島内フォワーダー）

朝6時半納入する貨物で、深夜搬出する貨物はどうすればいいのか。

搬出依頼予約は7日前からできるので、任意のタイミングで予約をお願いします。

24時間空港なのに上屋ごとに引取り可能時間が決められているのは何故か

トライアル期間は時間を決めて実施していましたが、本稼働後は各上屋の稼働時間＝Cloudで搬出を受け付ける時間となります。

K社（フォワーダー）

RSVとD/O一枚で済んでいたものが、システム入力することで手間がかかるのでは。

導入当初は少なからず手間とを感じる場面もあるかと思いますが、操作の習熟と関係者同士のシステム利用が浸透することで引き取りがスムーズになり、一連の搬出までの作業効率は向上されると想定しています。

朝一の引き取りがある場合、朝早くに出勤しなくてはいけないのか

1時間前までに貨物情報の必須項目を確定していただく必要はありますが、予約自体は前日の夜でも可能です。（貨物情報の必須項目入力締め切り時間を搬出時間の2時間前から1時間前に変更しました。）

紙のD/OであればB/Lにスタンプを押すだけで良いので、書類仕事と同時並行にできるが、Cloudへのデータ登録と並行してできるのか？中小は難しい

導入当初は少なからず手間とを感じる場面もあるかと思いますが、操作の習熟と関係者同士のシステム利用が浸透することで引き取りがスムーズになり、一連の搬出までの作業効率は向上されると想定しています。

上屋の突合確認が遅い問題は、Cloudを導入しても解決しないのでは。

Cloudは上屋の突合までの時間を直接的に早めるものではありませんが、当然上屋側も予約状況を見ながら作業を行いますので、現実的な予約内容であれば今よりも作業効率は上がると想定しています。

L社（フォワーダー）

改修後のトライアルは実施してもらえるか？

実施します。

トライアルで実際に何件搬出されたか？

トライアル期間での搬出依頼予約の件数は計220件の実績でした。

CSV にどんどん追加していくと、同じ貨物が何回も作成されてしまうのか

新規のデータであれば新たに作成されます。すでに登録済みのデータであれば変更のあった項目のみ更新されます。

SP は対象になるのか？

キャリア上屋(ANA Cargo、CKTS、JALKAS、Swissport)から搬出される HAWB 単位の SP 貨物は非対称ですが、MAWB 単位の SP 貨物は Cloud の対象となります。

システムダウンした時にどうしたらいいのか？RSV は完全になくなるのか？

緊急時は紙の D/O を用いて搬出してください。

KIOSK はファミリーマート以外の場所に置く予定はあるか？

要望があれば検討しますが、今の所予定はしていません

イレギュラー対応として前回トライアル時はD/Oを渡していたが、今後完全になくなった場合のオペレーションに不安を感じる。(特に土日の不在時のイレギュラーやシステムがダウンした時)

出来る限り早期に Cloud での運用が浸透するよう周知を進めて参ります。

本番環境移行時は D/O 併用期間は設けてほしい。その方が現場は混乱しないし、準備ができる。イレギュラー発生時も併用していた方が対応可能なので納品の遅れもカバーできる。

2つの搬出方法を並行する場合、関係者の工数が増えることが予想されます。その状況は、スムーズな引き取りを目指す Cloud の運用から逆行しているため、並行運用は考えていません。

輸入混載業務をする者としては、手間はどうしても増えるので理想としては NACCS との連動を実現してほしい。

NACCS センターとは引き続き協議しています。早期の NACCS 連動を目指して引き続き協議を進めて参ります。

急ぎの貨物の搬出には対応できないことが懸念点。

貨物情報、搬出依頼情報が確定している場合は締め切り時間を過ぎた場合でも、次の時間枠に空きがある場合は予約が可能です。搬出時間まで 30 分を過ぎている場合は入力後貨物情報、搬出依頼情報共に編集ができませんので、確定の情報を入力してください。

リモートで出来る等メリットもあるが、本当にペーパーレスになっても大丈夫なのか不安

導入当初は少なからず不安とを感じる場面もあるかと思いますが、慣れとシステム利用が浸透することで引き取りがスムーズになり、一連の搬出までの作業効率は向上されると想定しています。

根本としてはペーパーレス化を進めていきたいし、世の中がそういう流れなのは承知しているが、2024 年問題自体はそこまで社内でも大きな問題にはなっていない。納品のタイミングが遅くなるくらいの認識。

現時点(回答時 2024 年 6 月時点)で関空島内において拘束時間の上限が来たため、引き取りできずドライバーが帰った事例も発生しているので、早期対応が必要であると考えています。

M社（フォワーダー）

KIX に定期的に来ていない運送業者の登録は任意で問題ないか？

一般アカウントの登録は任意で構いませんが、登録いただいていない場合、都度 KIOSK 端末で入力いただく必要があります。

搬出依頼情報をドライバーに案内しやすい形で出力できるようにしてほしい。

搬出依頼情報の出力は画面からできますので一度お試しください。

管理者アカウント、代表者メールで登録しているが、個人アカウントも作成する必要はあるか？

貴社の業務において必要であれば作成してください。管理者アカウント一つで問題ないのであれば、追加で作成いただく必要はございません。

今後輸出に展開した際に、大阪市内の者が担当になるが、その時は市内とも共有のアドレスを見る形でも問題ないか？

問題ございません。

本番環境移行時の D/O 併用期間はあってもなくてもどちらでも対応可能。

これまで書類の引取にかかっていたりんくう-KIX 間の移動時間等が大幅に短縮されるので、M 社としてはシステムに期待している。

ありがとうございます。

2024 年問題については以前から待機時間が問題になっていたもので、予約システムを入れて管理を始めている。空港としては特段何かしているわけではないが、急ぎのものは無理を言って運んでもらう等をしていたので、その点は考えていかないといけないとは思っている。

ありがとうございます。

N社（フォワーダー）

一番のネックは NACCS の連動がないこと。二重作業が大変。ただ社内システムから CSV データの排出はできるようになったので、ある程度作業量は削減できる。

NACCS センターとは引き続き協議しています。早期の NACCS 連動を目指して引き続き協議を進めて参ります。

CSV でのデータ取り込みについて、現状は 1 件でも重複していると全件読み込んでもらえないから、そこを改修してほしい。例えば 10 件中 1 件重複があった場合でも、残りの 9 件だけでも読み込んでほしい。

今後の改修項目として検討します。どのデータが重複しているかはわかるようにしておりますので、確認後再 UP してください。

全員で 1 つのアカウントを使っているので、アサインが終わっているものは表示されない等の機能をつけてほしい。

「アサイン可能」のステータスを追加しましたので、フィルターで省いていただく様をお願いします。

ルール決りを明確にしてほしい。例えば上屋間の OLT とか、例外的な運用とか、曖昧なものも多いので、運用開始までには整備してほしい。

整備いたします。

OLT をする際の NACCS 帳票も廃止されるのが理想。

NACCS で OLT 申請する場合や税関の承認などは Cloud 導入後も必要になりますが、今後の Cloud の利用者が増えることで業界全体のペーパーレスに繋げていくことが出来ると考えています。

例えば KAP—税関—上屋で協議してもらい、OLT 発送印を不要にするとかも検討してほしい。

検討します。Cloud の稼働を契機に業界全体のペーパーレスに繋げていくことが出来ると考えています。

将来的には NACCS と連携するのか？

NACCS センターとは引き続き協議しています。早期の NACCS 連動を目指して引き続き協議を進めて参ります。

N 社は NACCS と自社システムが連携しているので、直接 NACCS を使っていない。

KIX Cargo Cloud と NACCS の間に 1 つプラットフォームをかませ、連携できないのか。

KIX Cargo Cloud と NACCS と直接・間接的な連携は現時点ではできませんが、将来的には実施したいと考えています。

一括でアサイン先をお気に入り登録する方法がほしい。(CSV 等で)

システム改修で追加しました。

路線業者からの不満はよく聞く。

路線業者には個別で説明に伺っています。不満の内容にもよりますが、説明後の業者からはシステムが想定通り動けば良いシステムだのご意見をいただいている路線業者もおられます。

現在受取票で受け渡しの管理をしており、Cloud 上でのアサインとなると管理が難しい。いつ、誰が、誰にアサインしたか、どこかで一覧が見られるようにしてほしい。エクセルで吐出しができることも理想。

フォワーダーアカウント(混載代理店・通関業者)では自身とアサイン先、もしくは自身にアサインされたアサイン元の 2 社間の履歴は閲覧可能です。アサイン先の企業がその後誰にアサインしたかは閲覧できません。また、エクセルでの吐出しも現状のシステムではできませんが、他社からも同様の希望があれば次回改修時に検討します。

AWB がほしいと言われることもあるので、資料を添付できるようにしてほしい。

システム改修で「貨物情報」に添付機能を設けました。添付できる容量に限りはございますが、効率的にご利用ください。※添付する内容は任意のモノになります。AWB に限定するものではありませんのでご注意ください。

O 社 (フォワーダー)

システム導入後は RSV も完全になるのか？

その通りです。NACCS で RSV を入力、帳票を抽出していただく必要がなくなります

NACCS との連携はしないのか？

NACCS センターとは引き続き協議しています。早期の NACCS 連動を目指して引き続き協議を進めて参ります。

CSV でのデータ入力は簡易にできた。

ありがとうございます。

様々な作業を行っているためメールの見落とし、アサイン忘れが発生しないか心配。

アラートが出るとか、何かしらの措置があるとありがたい。

アサイン忘れについてのアラートを出すことはできませんが、「アサイン可能」のステータスを追加したのでフィルターで省いていただく様お願いします。

渋滞等で遅れた場合は予約自体キャンセルになるのか？

予約枠自体は自動で削除されることにはなりませんが、著しく遅れる場合は予約を取り直してください。

荷主からアカウント登録させてほしいという要望あり。

荷主にアカウントを取得していただくこと自体は可能です。

次回トライアルはいつになるか？

10月23日(水) 移行期間開始

11月20日(水) システム本稼働

アサイン済みのものはリストから消えるようにしてほしい。(各貨物情報の次のステップ分かるように)

「アサイン可能」のステータスを追加しましたので、フィルターで省いていただく様お願いします。

ステータスごとにページを分けてほしい。

ページではなく、ステータスごとに色を分けるよう改修しました。また、フィルターを活用していただき、各種ステータスでソートをかけていただく様お願いします。

誰かに間違えてアサインしてしまって担当が帰ってしまった場合、搬出できなくなるのか？

その通りです。

もっと Cargo Cloud の広報をしてほしい。業界紙とかに出してほしい。

プレスリリースと合わせ、業界紙や各種媒体でリリースしていきます。

本番環境移行時の運用方法は以下2つのいずれかが理想。

トライアル期間を少し長めにして、初め1週間を併用期間にして、その後1週間で本番と同じ内容で実施して、そのままローンチする形。

現場としてはイレギュラーのことも考えると、多少の移行期間はほしい。

一案として受け止め検討致します

P社（フォワーダー）

イレギュラー発生時はシステムを介さず、個別対応する形か？

その通りです。

システム導入に至った経緯は？

関西国際空港におけるトラックの待機時間が著しく長いこと。また、2024年問題の観点から待機時間を解消するため導入します。加えて、今後の業界の労働力不足に対応するため現状の紙でのマニュアルの運用を一部デジタル化するに至りました。

現状特段混んではいないが、上屋会社から何かコメント出ているか？

貨物量が全体で落ち込んでいるため現状は混んでいないが、ピーク時に対しての懸念は持たれている。また、人手不足の影響もあるので、少しでも効率が上がるのであればこのタイミングで運用方法を変えたいと聞いています。

P社としては、システム導入されても特段手間は増えない想定。

ありがとうございます。

混載便のカット時間が早まるのではないかと心配している。

混載便業者には現行の書類引き取りのカット時間の代わりに、アサインのカット時間を設けてもらうようお願いしています。その時間が現行より早まるか否かは業者によるものと捉えていますが、基本的には早まることはないと考えています。

全AL上屋が対象となるのか？

4キャリア上屋（JALKAS、ANA Cargo、CKTS、Swissport）から搬出される貨物のみが対象です。

大手に予約枠をまとめて取られる可能性があるのか？

いかなる規模の企業でも、予約枠を大量に取った場合でも、締め切り時間までに必須項目に入力がされていなければ空ブッキング扱いとみなし、搬出依頼予約を自動キャンセルします。正しく予約を取られていないと管理者が判断した場合は、システム利用停止など個別に対応させていただく可能性がございます。

対象外の貨物はどうなるのか？

現行通りのD/Oを用いた搬出方法になります。

JALKASはCEIV貨物を優先搬出しているが、それは今後どうなるのか？医薬品輸送には専用の配送業者を使っているのでどうなるのか気になる。

各上屋での早当てや、優先搬出サービスなどの有料サービスはCloud導入後も残ります。

キオスクを年配の方に使っていただくことになるが、操作の難易度的に問題なさそうか？

御年配の方でも操作しやすい様、単純な入力画面にしています。

次回トライアルは前回同様の DO 併用運用する形か？

次回トライアル実施の際は D/O の併用運用はしない予定です。

NACCS との連動はしないのか？将来的には NACCS に繋がるのか。

NACCS センターとは引き続き協議しています。早期の NACCS 連動を目指して引き続き協議を進めて参ります。

将来的には輸出貨物もシステム化するか？

その予定です。

再預かりの搬出もシステムを通してやる方向か？

上屋再預かり貨物については現行通りマニュアル対応になります。

FWDR サイドではどうしても作業量が増えてしまう。

導入当初は少なからず手間とを感じる場面もあるかと思いますが、慣れとシステム利用が浸透することで引き取りがスムーズになり、一連の搬出までの作業効率は向上されると想定しています。

D/O レス化にすること自体は賛成

ありがとうございました。

自社通関なら問題ないが、半数近くは他社通関のため早いタイミングで D/O を渡さないといけないが、システムを使うことでタイムラグが発生してしまう点は懸念している。

貨物情報の登録をすれば、アサインはリアルタイムで可能ですので、実際に書類を渡しに行く時間が減り、トータルで時間はかからないと考えています。

個人引取（通関までは P 社で実施）の場合はどういう扱いになるのか。

個人引取(一個人(私人))が引き取りに来る場合も Cloud 対象となります。

長距離トラックの場合、予約時間に取りに来られない可能性が高いが、遅れた場合に予約はキャンセルになるのか。

予約枠自体は自動で削除されませんが、著しく遅れる場合は予約を取り直していただく必要があります。

今は比較的取りたい時間にとれているので、取りたい時間にとれなくなるのは困る。

Cloud を導入するか否かに関わらず上屋のキャパシティは同じです。取りたい時間にとれないというのではなく、今まで取れていなかった時間がわかるようになるのが Cloud の機能になります。

横持ち等の島内ラウンド運送はどういう扱いになるか。

上屋アカウントではアサインの履歴(誰から誰にアサインされたか)が全て閲覧できるようになっています。搬出カウンターでの D/O の提示は不要になりますが、NACCS にコードを入力した後、貨物を他所に動かしたい場合は上屋になにかしら連絡をしていただくようお願いします。

区分 3 になった場合の検査場への横持は、現行通り NACCS で横持申請をかけるとコードを入れた業者が Cloud

上で貨物の所有権を持っている業者か（アサインされている業者か）履歴情報を閲覧し、整合性が取れた場合は上屋が対応します。

純粋な上屋からの搬出行為ではないため Cloud での搬出依頼は不要です。

ラウンド運送も現行通りマニュアル書面を用いての運用になります。

Q社（島外・SP業者）

SP 対象外と聞いているが、実際どう対象外になるかを知りたい。

SP 貨物であっても MAWB 単位での搬出は対象、HAWB 単位での搬出は対象外になります。

例えば4 上屋内で SP 貨物をハウス単位にブレイクした後、搬出する場合は対象外という理解で OK か。

その通りです。膨大な数の HAWB の入力が必要になるため、現実的に考えて効率化とは言えません。

再預かりを切った場合は、MAWB でも HAWB でも対象外という理解で OK か。

上屋再預かりについては“預かり書”を用いたマニュアル運用を行ってください

どの程度の情報があれば、枠の仮予約が取れるのか。

予約は入力項目を入れていない状態でも押さえること自体は出来ますが、予約時間の1 時間前までに必須項目が入力されていない場合は空ブッキングとみなし自動キャンセルされます。

例えばトラックの到着が遅れた場合や、予約時間までに通関が切れそうにない等の場合、上屋とはアナログで連絡を取り合うことになるのか。

その通りです。

（SP 貨物の対象を MAWB と HAWB で分けることについて）通関許可が下りている貨物の引き取るパターンと、通関が切れる前に引取り 2 次上屋に持っていった後に通関を切るパターンがある。後者の場合、いつ上屋で突合確認が取れるか分からないので予約が難しい。SP も対象とされると、ブレイクを行う上屋会社が優遇されることになるので再度検討してほしい。

現行でも都度フライト時間から突合時間、通関許可時間を予測され配車手配をされていると思います。Cloud 導入後も同じことを行ってください。

定期的な荷主であっても、毎回同じフライトで到着するわけではないので、事前に搬出予約を取ることが難しい

現行でも都度フライト時間から突合時間、通関許可時間を予測して配車手配をされていると思います。Cloud 導入後も同じことを行ってください。

車両情報を事前に入手することが難しい場合もある。

配送業者に確認し事前に入手するようにしてください。もしくは配送業者にアサインし、入力いただくようお願いしてください。

R社（島内フォワーダー）

上屋料、配車料の請求について、現状請求先コードは一社分しか登録できないが、どのようにしたら登録でき

るか。

まず、上屋料の請求先を確定させるためにNACCSと同じ請求先コードを登録していただきます。システム改修後、フォワーダーアカウント(混載代理店・通関業者)ではアカウント登録時にマスタ登録ができるようにしました。デフォルトの一つだけでなく、会社としての保有している全ての請求先コードを登録できるようにしました。

配車料(配送料)については各々の配送業者から配送後に請求されてくるものであり、この請求先コードを利用して何かするという事ではありません。配送業者から別途請求をいただってください。

搬出時間の直前までドライバー情報が決まらないこともある。搬出時間の30分以内に変更になった場合の変更はどのように行うか。

配送業者と密に連絡を取りドライバー情報を早めに入手してください。30分を過ぎた後変更になる場合は上屋に直接連絡して正しい情報を伝えてください。

次回トライアル実施時は、もう少し長めの期間設定にしてほしい。

1か月のトライアル期間を設けます。

トラックの手配の際、2次・3次受け等も多々あるのだが、ドライバー情報は誰が入力すべきか。

ケースバイケースだと思いますが、ドライバー情報はフォワーダーでも、運送業者でも入力することが可能です。どちらが入力するかは両社間の協議の上、決めてください。

2次受け、3次受けの運送業者も、アカウントを取得しアサインを受ければドライバー情報を入力することは可能ですが、フォワーダーから依頼を受けているのは一時受け業者になるので、一次受け業者が2次受け、3次受け業者からドライバー情報を収集し、フォワーダーに伝えていただくことを勧めます。

今後のスケジュールはどんな感じか。前回は設定期間中に搬出がなかったので実施できなかったが、余裕のあるタイミングで一度トライアルをしてみたい。

10月23日(水) 移行期間開始

11月20日(水) システム Launch

税関検査等で搬出が遅れる場合は、予約はどうなるのか。

予約枠自体は自動で削除されることにはなりませんが、著しく遅れる場合は予約を取り直していただく必要があります。

オフロードになった際の取扱いはどうなるか。予約は自分でキャンセルするのか。

搬出時間までにオフロードがわかった場合は、搬出依頼情報を入力された方が予約をキャンセルしてください。締め切り時間が過ぎて自身で編集できない場合は上屋に連絡し、キャンセルになった旨と理由をお伝えください。

「生鮮」の範囲・定義が難しい。

「生鮮貨物」は全て Cloud の対象とします。

S社(島内フォワーダー)

BL単位での添付機能は欲しい。BL 1枚は必須だが白黒で5枚分程度あれば十分

システム改修で「貨物情報」添付機能を設けました。改修内容説明資料をご覧ください。

対象、対象外の貨物を一緒に積み込む場合は搬出依頼情報の添付機能にマニュアル帳票を添付するのがいいのでは

対象外である貨物(上屋再預かり後再搬出する貨物)と Cloud 対象の貨物を合積みにする場合は、その旨を搬出時に上屋に伝えてください。

荷主引き取りの場合どうなるのか

荷主手配の場合の搬出方法についても2つの方法を想定しています。

- ①搬出依頼情報を入力する者が、荷主手配の配送業者のドライバー情報を確認し入力する。
- ②荷主、もしくは荷主手配の配送業者に一般アカウントを取得いただき、その業者が搬出依頼情報を入力する。
(フォワーダーから貨物情報のアサインを受ける必要があります)

他に、方法としては③貨物情報をフォワーダーが作成後、引き取る貨物の詳細をドライバーに伝えていただくことで KIOSK 端末から予約をすることも可能ですが、KIOSK 端末操作時点からの予約となるため引き取りまでの待ち時間が発生する可能性が高いことから、上記2つの方法を推奨します。

説明資料を読んだがどういったものかイメージし辛かった。もう少しイメージが伝わる資料が欲しい

追加の説明資料を作成します。

T社（島内フォワーダー・輸入混載業務）

BB 後、書類をまわす他社通関業者が上屋で税関検査や内点を行う場合で、バンクリリース等の入金確認が取れていないため D/O 原本自体は渡すことができないが、どうしても内容点検をしたいので検査帳票に押印し、検査をさせる場合がある。そのようなケースの場合 Cloud ではどうするのか。

NACCS の検査帳票は Cloud 導入後も残るので、D/O リリース(アサイン)をせず、検査帳票に押印し、他社に検査をさせることは今まで通り可能です。バンクリリースの際の運用方法は Q&A をご参照ください。